



ハナミズキ

72 編の端書きに **ソロモンの詩**。とあります。ソロモンはダビデが臣下ウリヤの妻であるバト・シェバを奪い、妻とし、生まれた息子です。19 人の嫡男のうち、10 番目ですが、預言者ナタンがソロモンを「主に愛された者」として大事に見守りました。王位継承にナタンの活躍があり、ソロモンはダビデの王座に就きました。

冒頭に **神よ、あなたによる裁きを、王に／あなたによる恵みの御業を、王の子に／お授けください。(1)** とあります。ソロモンが王座につき、最初にギブオンの高台で盛大な捧げものをした日の夜のことです。主がソロモンの夢枕に立ち、ソロモンの願いをかなえようと約束されました。その時、ソロモンは **どうか、あなたの民を正**

しく裁き、善と悪を判断することができるように、この僕に聞き分ける心をお与えください(列王記3:9) と裁く知恵を求めました。**あなたによる裁き** が正しい裁きであり、恵みの業であると、ソロモンは告白しています。**王が民を、この貧しい人々を治め／乏しい人の子らを救い／虐げる者を砕きますように。(4)** と、貧しい、乏しい人々を救い、暴虐な者を裁く王でありたいと願います。神は喜び、ソロモンが求めなかった富と栄光、更にダビデの道を歩むならば長寿をも、と約束しました。

2 連以下は王国の「弥栄」を願う色彩が濃い歌となり **王が太陽と共に永らえ／月のある限り、代々に永らえますように。(5)** にあるように、未来永劫の王権の継続を祈ります。ただ、王が **生涯、神に従う者として栄え…豊かな平和に恵まれますように。(7)** と、信仰に生きる王であることを願っています。

3 連は **王が海から海まで／大河から地の果てまで、支配しますように。(8)** **すべての王が彼の前にひれ伏し／すべての国が彼に仕えますように。(11)** と、領土的拡大、支配を願っています。

4 連で **王が助けを求めて叫ぶ乏しい人を… 弱い人、乏しい人を憐れみ… 不法に虐げる者から彼らの命を贖いますように。(12)** と、民には慈悲深い、公正な王であるように **彼のために人々が常に祈り／絶え間なく彼を祝福しますように。(15)** と、王のための恭順な祈りも求められています。

5 連では **この地には、一面に麦が育ち／山々の頂にまで波打ち／その実りはレバノンのように豊かで／町には人が地の青草ほどにも茂りますように。(16)** と、豊穡な国土であるように、他国に引けを取らない経済的繁栄を得て、人口が増大するようにと、願っています。

最後に 41 編にも記されているように **主なる神をたたえよ／イスラエルの神／ただひとり驚くべき御業を行う方を。栄光に輝く御名をとこしえにたたえよ／栄光は全地を満たす。アーメン、アーメン。(18)** と、すべての人が声を合わせるかのように、主を賛美しています。不思議なことに **エッサイの子ダビデの祈りの終り。(20)** という語句で終わっています。ソロモンの詩であったはずですが。

『讚美歌 21』では351「聖なる聖なる」を関連付けています。これは最後の賛美の部分を取り上げて歌ったものです。 <https://sanbika.blog.ss-blog.jp/2010-11-02>

ジュネーブ詩編歌は華やかで柔らかいピオラ・ダ・ガンバと落ち着いたオルガンの合奏です。

[Psalm 72 Genevan Psalter - setting by Claude Goudimel - viols & organ - YouTube](https://www.youtube.com/watch?v=...)